

川崎汽船株式会社向け本邦初「トランジション・リンク・ローン」の 契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）は、本日、川崎汽船株式会社（代表取締役社長：明珍 幸一、以下「川崎汽船」）に対して、本邦初となる「トランジション・リンク・ローン（以下「TLL」）」をジェネラルシンジケーション方式で組成し、契約を締結しました。また、本TLLにはみずほ証券株式会社（社長：浜本 吉郎）並びにみずほ銀行がトランジション・ストラクチャリング・エージェントに就任しています。

川崎汽船は、2021年3月に次世代型環境対応LNG燃料自動車専用船を対象とした本邦初の資金使途特定型のトランジション・ローンを調達しており、本TLLはトランジション・ローンの第二弾として、運転資金を対象とした資金使途不特定型となります。また、規模としても本邦最大規模のESGローンになります。

TLLは、脱炭素社会実現に向け、脱炭素化・低炭素化を推進する企業の移行の取り組みを金融機関として支援することを目的としたローンです。

金融機関は、借入人のトランジション戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定して金利条件等と連動させることで、借入人にトランジション戦略の実現に対するインセンティブを与え、社会における脱炭素化・低炭素化を促進させることを目的としています。

川崎汽船は、業界に先駆けて「“K” LINE 環境ビジョン 2050（※1）」を策定し、脱炭素化に向けた移行に取り組んでいます。本 TLL の SPTs は、①GHG 総排出量目標、②トンマイルあたりのCO2 排出量目標、③第三者評価である CDP 評価の 3 つを設定し、それら全ての SPTs と金利条件をマトリクスのように連動させることで、それぞれのトランジション戦略の実行をコミットする仕組み（以下「トランジション・リンク・ファイナンス・フレームワーク（※2）」）を構築しています。

また、川崎汽船はトランジション・リンク・ファイナンス・フレームワークおよび今回の TLL について、株式会社日本格付研究所（JCR、※3）から経済産業省・環境省・金融庁の定める「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」、国際資本市場協会（ICMA）の定める「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」並びに「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」、LMA 等の定める「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省の定める「グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に準拠する旨の第三者評価を国内で初めて取得しました。

加えて、本TLLは、経済産業省による「令和3年度クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業（※4）」に選定されました。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、脱炭素化に向けたお客さまの事業の強化・転換をサポートするため、ファイナンスや助言、ソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

＜本契約の概要＞

借 入 人：川崎汽船株式会社

ア レ ン ジ ャ ー：みずほ銀行

コ・ア レ ン ジ ャ ー：日本政策投資銀行、三井住友信託銀行

貸 付 人：関西みらい銀行、西京銀行、山陰合同銀行、三十三銀行、信用中央金庫、スルガ銀行、中国銀行、栃木銀行、日本政策投資銀行、農林中央金庫、八十二銀行、肥後銀行、百十四銀行、北陸銀行、みずほ銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、山口銀行、横浜銀行、他（五十音順）

トランジション・ストラクチャリング：みずほ証券株式会社、株式会社みずほ銀行・エージェント

金 額：約 1,100 億円

契 約 締 結 日：2021年9月27日

（※1）「” K” LINE 環境ビジョン 2050 ～青い海を明日へつなぐ～」

<https://www.kline.co.jp/ja/csr/environment/management.html#002>

（※2）「トランジション・リンク・ファイナンス・フレームワーク」

https://www.kline.co.jp/ja/csr/sustainable_finance/main/01/teaserItems1/01/file/Transition%20Linked%20Finance%20Framework.pdf

（※3）株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/>

（※4）経済産業省 第3回 クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業にかかるモデル性審査委員会

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/climate_transition/003.html

以 上